

2021（令和3）年度

京都大学教育学部
学士入学
試験問題

※選択されなかった外国語科目については掲載していません。

京都大学教育学部
学士入学試験問題

外国語

英語

注意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 出願の際に届け出た受験外国語科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区別された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
提出する解答用紙は2枚である。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

英語

I. 次の文章の下線部(1)～(3)をすべて和訳しなさい。(2)については、二重下線部のlike theseが示すものを和訳に含めること。
なお、それぞれの解答の最初に(1)～(3)の番号を記入すること。
(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、White, M. (2012). *coffee life in Japan*. Berkely, CA: University of California Press の33頁17行目～35頁2行目を引用した。

なお、下線部(1)は、33頁18行目の「what has been」から始まる1つの文を、下線部(2)は、34頁3行目の「A look at cafés」から始まり「in the schedules of life:」までの1つの文を、下線部(3)は、34頁38行目「Time away from work」から始まり「his full vacation allotment.」までの1つの文を指す。

(1)

【問題文】

(問題文略—問題用紙1頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(2)

【問題文】

(問題文略—問題用紙1頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(3)

II. 次の文章の下線部(1)～(4)をすべて和訳しなさい。(4)については、二重下線部の these が示すものを和訳に含めること。なお、それぞれの解答の最初に(1)～(4)の番号を記入すること。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Bowlby,J.(1958),The Nature of the Child's Tie to his Mother. *International Journal of Psycho-Analysis*,39,350-373.の364頁7行目～29行目を引用した。

なお、下線部(1)は、364頁7行目の「First, to ensure survival」から始まる1つの文を、下線部(2)は、364頁14行目の「It is my thesis that」から始まる1つの文を、下線部(3)は、364頁22行目の「My second point concerns」から始まる1つの文を、また下線部(4)は、364頁27行目の「As observers when」から始まる1つの文を指す。

(4)

【問題文】

(問題文略—問題用紙4頁目の後掲<注意>を参照のこと)

(5)

2021年度

京都大学教育学部
学士入学試験問題

外国語

ドイツ語

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 出願の際に届け出た受験外国語科目と配付された問題が同一であるか確認すること。受験科目の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
提出する解答用紙は2枚である。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

ドイツ語

I. 以下の独文を日本語に全訳しなさい。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Otto Friedrich Bollnow,*Die Pädagogische Atmosphäre, Die Blaue Eule, Essen*, 2001(1964)の11頁1行目～同17行目を引用した。

(1)

II. 以下の独文を日本語に全訳しなさい。(50点)

【問題文】

(問題文略—後掲<注意>を参照のこと)

<注意>

問題文は、Jürgen Habermas, *Strukturwandel der Öffentlichkeit*, Hermann Luchterhand Verlag, Neuwied, 1975 の 159 頁 6 行目～31 行目を引用した。

(2)

京都大学教育学部
学士入学試験問題

一般教育科目

注 意

1. 解答用紙には、1枚ずつすべてに受験番号、氏名、受験科目を必ず書き入れること。(※印のところは記入しないこと。)
2. 問題Ⅰは現代教育基礎学系、問題Ⅱは教育心理学系、問題Ⅲは相関教育システム論系からの出題である。計3問のうち、入学志願票に記入した第1志望系と第2志望系の問題、計2問を必ず選択すること。志望系の変更は認めない。
3. 解答は、問題番号に付しているローマ数字で区分された問題ごとに、必ず解答用紙を替えること。(各問1枚とする。)
解答に際しては、各解答用紙にローマ数字の問題番号を必ず記入すること。
提出する解答用紙は2枚である。
解答用紙の表だけでなく、裏面を使う場合は、裏面の天地を逆にして続きを書くこと。
4. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってよい。

一般教育科目

次のⅠ～Ⅲの3問のうち、入学志願票に記入した第一志望系と第二志望系の問題を、計2問を選択して解答しなさい。
(100点 (50点×2問))

I. <現代教育基礎学系>

人間には他集団に比べて自集団をひいきする性質があるとされる。その一例として自民族中心主義が挙げられる。いかにすれば、偏狭で閉鎖的なメンタリティを超え、世界市民的な視座を育むことができるか論じなさい。

II. <教育心理学系>

認知心理学において、動機づけはどのように定義され、どのような理論やモデルに基づいて、研究が行われてきたのか、具体例を2つ以上挙げて論じなさい。また、臨床心理学において、動機づけはどのような場合に適応上の問題となり、どのような支援が行われる可能性があるか、具体例を2つ以上挙げて論じなさい。

III. <相関教育システム論系>

「日本の教員は多忙である」とされるが、そのように言われる要因について論じなさい。論じる要因は複数でも構わない。

(1)